

河辺地域におけるグループインタビューの結果について

1 実施日

- ・平成21年 2月2日 河辺ふるさとセンター 参加者 11名(戸島)
- ・ " 2月3日 赤平小学校 参加者 3名(赤平)
- ・ " 2月5日 岩見三内コミュニティセンター 参加者 22名(岩見三内)
- ・ " 2月6日 河辺公民館 参加者 5名(河辺)

2 グループインタビューの結果要旨

1) 中央交通の路線バスの廃止と代替交通について

- ・公共交通の存続(全)
- ・運行本数は、多少削減してもいいが、可能であれば現状維持(全)

2) 現在の利用状況について

- ・赤十字病院への通院、御所野地区への買い物が主なものである(戸島)
- ・和田駅周辺での通院や買い物の利用もある(戸島)
- ・和田駅でJRを利用する場合は、逆方向になることからバスで秋田駅方面に行く(戸島)
- ・赤平地区の小中学生の登下校は、家族が送迎している(赤平)
- ・和田駅周辺の医院への通院者は多い(赤平)
- ・岩見三内地区は、太平線の利用の方が多い(岩見三内)
- ・岩見三内線を利用する方は、和田駅周辺の医院、赤十字病院への通院が主なものの(岩見三内)
- ・和田駅からJRを利用する場合もあるが、目的地(例えば有楽町)によっては、バスを利用(河辺)

3) 乗り換え地点(乗り継ぎ拠点)について

- ・現在、御所野地区で買い物をし、赤十字病院へは同地区で乗り換えて通院していることから、御所野周辺での乗り継ぎには抵抗はない(全)
- ・赤十字病院への通院者が多いことから、同病院への直通便を望む(全)

4) 経路について

- ・研究会に提示した代替案の経路に関する要望等は、特にない(全)

5) バス車両と運行形態について

- ・運行形態は、予約なしでも乗り残しのないマイクロバスによる路線バス型(定時定路型)と、小回りがきくジャンボタクシー(予約式)での運行希望と半々である(全)
- ・予約式の運行形態により、公共交通空白域の解消をして欲しい(戸島)
- ・利用状況を考えるとジャンボタクシーでの運行で間に合うのではないか(赤平)

6) 利用料金(運賃)について

- ・運賃の多少の増額は、承服するが、著しいものとならないよう望む(全)

7) その他

- ・和田駅でのJRとの接続を考慮して欲しい(赤平・河辺)
- ・太平線の代替交通導入にあたって、研究会を設置すると思うが、岩見三内地区からも委員として参加させて欲しい(岩見三内)